

令和3・4年度 江田島市測量・建設コンサルタント等業務

競争入札参加資格審査の窓口における申請の手続の概要

江田島市総務部財政課

1 資格審査

江田島市及び江田島市企業局が、令和3・4年度に発注する測量・建設コンサルタント等業務の一般競争入札又は指名競争入札（随意契約を含む。）に参加する者に必要な資格（以下、「入札参加資格」という。）の審査（以下、「資格審査」という。）を受けようとする者は、所定の入札参加資格審査申請書及び添付書類（以下、「資格審査申請書等」という。）を、原則として電子申請により申請するものとし、やむを得ない場合に限り窓口申請を行ってください。

なお、利用者登録番号、電子入札用のICカードをお持ちの方及び県外業者（主たる営業所を県外に有する者）は、電子申請を行ってください。

2 資格審査申請書等の提出先及び提出期間

申請者の区分	提出先・受付場所	提出期間・受付時間
県内業者 (登記簿上の本店を 県内に有する者)	〒737-2297 広島県江田島市大柿町大原505番地 江田島市総務部財政課 (受付場所：江田島市役所本庁3階)	令和3年1月12日(火)から 令和3年1月29日(金)まで 〔 9:00~12:00 〕 〔 13:00~17:00 〕 (市の休日を除く。)

※ 提出期間・提出先を間違えないよう、十分に注意してください。

※ 窓口申請は、郵送（**必着**）又は内容を説明できる方が資格審査申請書等を持参してください。

※ 受付期間を過ぎると受け付けることはできません。期間中に必ず申請してください。又、資格審査申請書等の到着確認についてのお問い合わせは、ご遠慮いただき、必要に応じて、配達状況の確認できる発送手段により、送付してください。

3 申請資格

次の各号に該当する者は、入札参加資格審査を申請することはできません。

- ア 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項の規定に該当する者
- イ 「測量」分野を希望業務とする者で、測量法（昭和24年法律第188号）第55条第1項の規定による登録を受けていない者
- ウ 「建築関係建設コンサルタント」分野のうち「建築一般」部門を希望業務とする者で、建築士法（昭和25年法律第202号）第23条第1項の規定による登録を受けていない者
- エ 「その他」分野のうち「不動産鑑定」部門を希望業務とする者で、不動産鑑定評価に関する法律（昭和38年法律第152号）第22条の規定による登録を受けていない者
- オ 直近2年間において、資格審査を申請する希望業務分野（測量、建築関係建設コンサルタント業務、地質調査業務、補償関係コンサルタント業務、土木関係建設コンサルタント業務及びその他）について、業務を行った実績（年間平均実績高の記載）のない者
- カ 資格審査の申請を行うときに、江田島市税の滞納がある者
- キ 資格審査の申請を行うときに、広島県税の滞納がある者
- ク 資格審査の申請を行うときに、国税（消費税及び地方消費税）の滞納がある者
- ケ 資格審査の申請において重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実について申告を行わなかった者
- コ 次のaからcまでに掲げる届出の義務を履行していない者（届出の義務がない者を除く）
 - a 雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出の義務

- b 健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出の義務
- c 厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出の義務

競争入札等に係る指名除外要綱により、江田島市の指名除外の期間中である方も資格審査申請書等は提出できますが、資格認定を受けた場合も指名除外の効力は継続します。

また、会社更生法による更生手続又は民事再生法による再生手続の手続中の方も資格審査申請書等は提出できますが、資格認定を受けたときに営業不振による指名除外を行う場合があります。

※ 上記ア～コの内容を十分に確認し、申請業種（分野・部門）及び内容をよく確認した上で申請してください。

4 入札参加資格の通知等

(1) 入札参加資格の通知

入札参加資格を認定したときは、申請者に通知します。

(2) 入札参加資格の取消し

入札参加資格の認定後、資格審査の申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明した場合等は、入札参加資格の取消しを行います。

入札参加資格の取消しを受けた者は、令和3年度及び令和4年度において再び入札参加資格の認定を受けることができません。また、令和5年度以降についても、その取消しの日から24か月を経過する日までは、資格の認定を受けることが出来ません。

(3) 入札参加資格の有効期間

この入札参加資格が認定された日から令和5年5月31日まで有効です。ただし、この資格は有効期間以降においても、その年度における資格が認定される日までは有効とします。

5 提出書類一覧表（資格審査申請書等）

番号	資格審査申請書等	申請者	注意事項等
		県内業者	
1	一般競争（指名競争）入札参加資格審査申請書【様式第1号【A～E】】	○	
2	委任先に関する調書【様式第2号】	○	・江田島市との契約締結権限を有する最寄りの営業所を一つだけ記入してください。登記簿上の本店以外に営業所がない場合は、「01」から「12」までを空白で提出してください。
3	測量業者登録証明書、建築士事務所登録証明書、土地家屋調査士登録証明書、計量証明事業者登録証明書、不動産鑑定業者登録証明書、司法書士登録証明書の写し	△	・申請日の3か月前の日以降に発行されたもの。
4	建設コンサルタント現況報告書、地質調査業者現況報告書、補償コンサルタント現況報告書の副本の写し	△	・土木関係建設コンサルタント業務、地質調査業務、補償関係コンサルタント業務について、それぞれ国土交通大臣の定めた登録規程による登録業者であり、申請書の「18 法令等の登録等の有無」の欄に入力した場合に必要。 ・「4」の現況報告書の副本の写し（国土交通大臣に提出し、その確認印を受けたものに限る。）の提出があれば、「6」の希望業務実績調書、「10」の財務諸表等及び「11」の登記事項証明書（商業登記簿謄本）の写しについては省略可。ただし、「4」の現況報告書に記載以外の分野のものは省略できないため、別途作成。
5	有資格技術職員名簿【様式第3号】	○	
6	希望業務実績調書【様式第4号】	○	

江田島市/令和3・4年度 窓口における申請用

7	江田島市の市税について滞納がないことを江田島市長が証した書面（写しも可）	△	<ul style="list-style-type: none"> 申請日の3か月前の日以降に発行されたもの。 江田島市内に営業所等がないなどのため、江田島市に税金を納める必要のない場合には必要ありません。
8	広島県の県税について滞納がないことを県税事務所長が証した書面（写しも可）	△	<ul style="list-style-type: none"> 申請日の3か月前の日以降に発行されたもの。 広島県内に営業所等がないなどのため、広島県に税金を納める必要のない場合には必要ありません。 <p>県税のページ http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/zei/1176862855636.html</p>
9	国税通則法施行規則（昭和37年大蔵省令第28号）別紙第9号その3、その3の2及びその3の3による納税証明書（消費税及び地方消費税に係るもの）又はその写し	○	<ul style="list-style-type: none"> 申請日の3か月前の日以降に発行されたもの。 消費税及び地方消費税の免税事業者であっても、「納税証明書その3」は発行されます。 納税証明書は、納税地を所轄する税務署で発行され、原則即時交付されます。（他の税務署では発行されません。） e-Taxを御利用の場合は、所轄の税務署にe-Taxを利用して納税証明書を交付請求することができ、窓口での待ち時間が短縮できます。 納税証明書についての問い合わせは、最寄りの税務署にしてください。 <p>国税庁のページ（納税証明書の交付請求手続） http://www.nta.go.jp/taxes/nozei/nozei-shomei/01.htm を参照してください。</p>
10	<p>法人：直前1年の事業年度の「貸借対照表」、「損益計算書」、「株主資本等変動計算書」及び「注記表」</p> <p>個人：直前1年の事業年度の「貸借対照表」及び「損益計算書」</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 「4」の現況報告書の副本の写し（国土交通大臣に提出し、その確認印を受けたものに限る。）の提出があれば、省略可。 資格審査申請書等を提出する日までに、直前1年の事業年度の財務諸表の調製が完了していない場合は、直前1年の事業年度の前年度の財務諸表を提出してください。
11	法人…登記事項証明書（商業登記簿謄本）の写し	○	<ul style="list-style-type: none"> 申請日の3か月前の日以降に発行されたもの。 「4」の現況報告書の副本の写し（国土交通大臣に提出し、その確認印を受けたものに限る。）の提出があれば、省略可。
12	委任状（写し不可）【様式第5号】	△	<ul style="list-style-type: none"> 委任先がない場合は提出不要です。
13	健康保険、厚生年金保険、雇用保険（以下「社会保険等」という。）の加入状況を確認できる書類の写し（社会保険等に加入義務がない場合又は適法に他の保険に加入している場合を除く）	△	<ul style="list-style-type: none"> 健康保険及び厚生年金保険 保険料を納付したことを証する書面、被保険者資格取得確認又は標準報酬決定通知書、被保険者報酬月額算定基礎届、その他健康保険及び厚生年金保険への加入が確認できる書類（年金事務所の收受印のあるもの）のいずれかの写し（いずれも直近1年間以内の日付のもの） 雇用保険 概算保険料又は確定保険料を納付したことを証する書面、労働保険概算・確定保険料申告書、雇用保険被保険者資格取得等確認通知書、雇用保険被保険者証（被保険者のうち、測量及び建設コンサルタント等業務に従事する職員全員分）、その他雇用保険への加入が確認できる書類（労働局の收受印のあるもの）のいずれかの写し（いずれも直近1年間以内の日付のもの）
14	申出書【様式第6号】	△	<ul style="list-style-type: none"> 社会保険等に加入義務がない場合又は適法に他の保険に加入している場合のみ提出してください。
15	ISO9001の認証取得を示す登録証及び附属書の写し	△	<ul style="list-style-type: none"> 広島県内にある営業所が、認証を取得している者のみ提出してください。
16	CPD内訳書【様式第7号】	△	<ul style="list-style-type: none"> 「17」～「19」の書類のいずれかを提出する場合には必要です。
17	測量系CPD協議会の測量CPD制度における県内の営業所に所属する技術者の前年	△	<ul style="list-style-type: none"> 学習単位を取得した技術者を広島県内の営業所等に有している者のみ提出してください。 証明書に所属する会社等が記載されていない場合は雇用関係

江田島市/令和3・4年度 窓口における申請用

	度及び前々年度の学習単位数について測量系CPD協議会が証する書面（協議会様式4（団体用））の写し		を確認できる書類（健康保険証等）を添付してください。 ・前年度及び前々年度…令和2年11月に申請する場合、 H30.4.1～R2.3.31
18	建築CPD運営会議の建築CPD（継続能力／職能開発）情報提供制度における県内の営業所に所属する技術者の前年度及び前々年度の認定時間数について、建築CPD運営会議が証する書面（建築CPD運営会議様式3-3）の写し	△	・学習時間を認定された技術者を <u>広島県内</u> の営業所等に有している者のみ提出。 ・証明書に所属する会社等が記載されていない場合は雇用関係を確認できる書類（健康保険証等）を添付してください。 ・前年度及び前々年度…令和2年11月に申請する場合、 H30.4.1～R2.3.31
19	建設系CPD協議会加盟団体の継続教育制度（CPD）における県内の営業所に所属する技術者の前年度及び前々年度の学習単位数について当該団体が証する書面の写し	△	・学習単位を取得した技術者を <u>広島県内</u> の営業所等に有している者のみ提出。 ・江田島市の様式指定はありません。建設系CPD協議会に加盟する団体から、必要事項（氏名、期間、学習単位数）を確認できる証明書の交付を受け、提出してください。 ・証明書に所属する会社等が記載されていない場合は雇用関係を確認できる書類（健康保険証等）を添付してください。 ・前年度及び前々年度…令和2年11月に申請する場合、 H30.4.1～R2.3.31
20	障害者雇用義務のある者：障害者雇用状況報告書（障害者の雇用割合が法定雇用率2.2%以上であること）の写し 雇用義務のない者：障害者の雇用状況を確認できる書類（障害者手帳等）の写し	△	・雇用義務の有無を確認のうえ、欄外の「注 障害者の雇用状況について」の要件を満たす場合のみ、提出書類を提出してください。
21	広島県公共土木施設災害支援制度における広島県公共土木施設災害支援団体認定証又は広島県公共土木施設災害支援制度に係る支援団体登録証明の写し（登録分野が「情報収集活動」のものに限る）	△	・認定を受けている者のみ提出。
22	消防団協力事業所表示制度認定証明書の写し	△	・申請日の3か月前の日以降に発行されたもの。 ・「消防団協力事業所表示制度認定証明依頼書兼証明書」により、認定した各市町担当課が発行した証明書を提出してください。
23	協力雇用主登録証明書の写し	△	・申請日の3か月前の日以降に発行されたもの。 ・「協力雇用主登録証明書交付申請書兼証明書」により、広島保護観察所（TEL082-221-4496）が発行した証明書を提出してください。 ・証明書発行の申請方法は、郵送のみです。（窓口での申請不可）交付申請書に必ず返信用封筒（宛先記入・84円切手貼付）を同封し、次の宛先まで郵送により申請してください。 〒730-0012 広島市中区上八丁堀2-31 広島法務総合庁舎内 広島保護観察所 民間活動支援専門官室 宛
24	暴力団離脱者社会復帰支援事業協力事業所登録を証する書面の写し	△	・申請日の3か月前の日以降に発行されたもの。 ・証明書の発行については、公益財団法人暴力追放広島県民会議（TEL082-511-0110）にお問い合わせください。
25	誓約書【様式第8号】	○	
26	使用印鑑届（ <u>写し不可</u> ）【様式第9号】	△	・実印に代えて、入札・見積・契約の締結並びに代金の請求及び受領のために使用する印鑑を届出したい者のみ、提出してください。
27	印鑑証明書（写しも可）	○	・申請日の3か月前の日以降に発行されたもの。 ・会社・法人にあっては、会社・法人登記を管轄する法務局で発行されたもの、又は個人にあっては、住所地の市区町村長が発行したものを提出してください。
28	受付書送付用封筒	△	・受付が完了したことを確認したい場合に提出してください。

			・長形3号の封筒に申請者名と住所を記入し、84円切手を貼付してください。
29	認定通知書発送用封筒	○	・長形3号の封筒に申請者名と住所を記入し、84円切手を貼付してください。

(○印は、提出が必須なものを示し、△印は該当する場合に提出が必要なものを示す。)

(注意点)

注 障害者の雇用状況について

雇用義務の有無	要件	提出書類（県に提出）
・障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）第43条第1項の規定により、第2条第1項に規定する障害者（以下「障害者」という。）を雇用する義務のある者	・障害者の雇用の促進等に関する法律施行令（昭和35年政令第292号）第9条に規定する障害者雇用率（2.2%）を達成した者	・障害者の雇用の促進等に関する法律施行規則（昭和51年労働省令第38号）第8条の規定により公共職業安定所長へ報告した障害者雇用状況報告書（事業主控）の写し
・障害者を雇用する義務のない者	・障害者を1名以上直接的かつ恒常的に雇用している者	・障害者を1名以上直接的かつ恒常的に雇用していることを確認できる書類 ①②両方必要、ともに写しで可 ①本人の身体障害者手帳、療育手帳等又は精神障害者保険福祉手帳 ②本人の健康保険証等

6 提出方法及び注意事項等

(1) 提出部数

資格審査申請書等1部

(2) 提出方法

郵送（必着）又は内容を説明できる方が受付場所に持参してください。

(3) 注意事項

ア 資格審査の申請において、重要な事実について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかった場合には、競争入札参加資格を認定しないことがあり、また、認定を受けた後でそれらの事実が判明した場合は、認定を取り消すことがあるので十分注意してください。

イ 受付後に申請内容を確認するため、連絡することがありますので、提出した資格審査申請書等の控えを1部作成し、様式第1号「E」に記入する申請事務担当者が保管してください。

ウ 提出書類の中で写し等を提出する場合には、複写機による鮮明なもので、A4版に調製したものを提出してください。

エ 提出書類については、5の「提出書類一覧表」の順番（「28」、「29」を除く。）に「ヒモ綴じ」してください。

オ 申請を依頼される場合には、申請者が申請内容等の質問に答えられるよう十分に配慮してください。（受付中に電話での確認等を行いますと、多くの方に迷惑がかかります。御協力ください。）

カ 入札参加資格申請の申請書類はお返ししません。申請時には十分注意してください。

7 入札参加資格審査申請書及び申請の手引きの入手方法

申請書及び申請の手引きは、「江田島市の入札・契約情報ホームページ」から、入手してください。

○ 江田島市の入札・契約情報ホームページ

<http://www.city.etajima.hiroshima.jp/cms/>

※ 「入札参加資格審査（変更届）など」>「測量・建設コンサルタント等業務」の欄にあります。

8 個人情報の保護

提出された個人情報は、資格審査の目的に利用し、その他の目的では利用しません。